

「主な取組」検証票

施策展開	1-(7)-ウ	人に優しい交通手段の確保		
施策	③多様な交通手段の確保			
(施策の小項目)	○自転車利用環境の整備			
主な取組	自転車利用環境の整備	実施計画 記載頁	79	
対応する 主な課題	○環境や人にやさしい交通手段として自転車利用促進が求められているが、沖縄県では自転車の利用が少ない。また、自転車走行空間が確保されておらず、歩行者や自動車と錯綜して危険な状況があることから、安全・快適な自転車利用環境の整備が必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	都市部における渋滞対策及び低炭素都市づくりの実現に向け、既存道路に自転車走行位置を明示することにより自転車走行環境を確保し、自動車に頼らないライフスタイルへの転換、自転車の利用促進を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
			0.2km 自転車走行空間明示延長	2km	2km	→	県
	整備地区選定		自転車走行位置の明示				
担当部課	土木建築部 道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
公共交通安全事業	87,701 (36,480)	85,642 (36,478)	那覇市等の整備計画の遅れがあるが引き続き、県道管理者としての情報提供等、市町村の計画策定への協力を行った。 公共交通安全事業の自転車歩行者道事業において、自歩道の整備を0.4km行った。	一括交付金(ハード)
	活動指標名		計画値	実績値
	自転車走行空間明示延長		0.2km	0km
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
やや遅れ	計画0.2kmに対して、実績が0kmとなっている。 那覇市等の整備地区選定が遅れているため、予定箇所の自転車走行位置の明示に至っていない。 しかし、自転車走行環境の確保のため県の公共交通安全事業で石垣市において、自転車歩行者道の整備を0.4km行った。予定箇所の自転車走行位置の明示には至っていないため、やや遅れとした。 自転車歩行者道の整備によって、通行空間が確保されたことで、歩道利用者(歩行者、自転車)の安全性の向上が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
公共交通安全事業	13,000 (2,000)	那覇市等の整備計画の遅れがあるが引き続き、県道管理者としての情報提供等、市町村の計画策定への協力を行う。 併せて、自転車歩行者道の整備を実施する。	一括交付金(ハード)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

引き続き協議会等で、国、市町村と協議し、早急に整備計画の策定に取り組んでいく。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
低炭素なまちづくりに取り組む市町村数	0市町村 (24年度)	2市町 (26年度)	—	↗	—
状況説明	那覇市等において整備計画の策定に向け取り組んでいるところであるが内部調整に時間を要しており、計画策定協議会で平成27年度も継続して計画検討を行うこととなった。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・那覇市等において整備計画の策定に向け取り組んでいるところであるが、内部調整に時間を要し計画策定協議会では、平成26年度中の計画策定ができなかった。
- ・自転車利用については、交通ルール遵守の意識が十分でなく、環境の整備も進んでいない状況にある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・平成27年度も継続して計画検討を行うこととなっているが、年度別計画に遅れがあるため早急に計画の策定を行う必要がある。
- ・自転車・歩行者と分離された通行空間の環境整備が必要であるが、そのためには、断片的な整備ではなくネットワークとして整備することが重要であり、市町村の計画策定を促進する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・県道の幅員構成等の情報を提供するなど、市町村の計画策定を支援し、自転車走行空間に関する計画策定を促進する。